

高2 東大世界史～戦後史重要テーマ～



1～5章 解答・解説

問題

【1】

解答

- 問1 ① 大西洋憲章 ② 北大西洋条約機構 ③ 台湾 ④ 中華人民共和国
⑤ 朝鮮民主主義人民共和国 ⑥ 大韓民国 ⑦ インドネシア共和国
⑧ インドシナ ⑨ フィリピン共和国 ⑩ パキスタン共和国

問2 1945年、国際平和と安全の維持を目的に設置された。中心機関の総会では、全加盟国がそれぞれ1票の投票権を持ち、多数決制が採られる。最も強大な権限を持つ安全保障理事会は、国際紛争の解決のための経済的・軍事的制裁権を持ち、常任理事国の合衆国・イギリス・フランス・ロシア・中国には拒否権が与えられている。(147字)

問3 第二次世界大戦で困窮したヨーロッパの経済を復興するため、合衆国国務長官のマーシャルが提案した経済復興援助計画で、ヨーロッパで共産主義が拡大することを防止する目的があった。(85字)

問4 1947年にソ連とヨーロッパ各国の共産党がマーシャル＝プランに対抗して結成した機関で、共産党間の情報交換や活動の調整を目的とした。(63字)

問5 ソ連のペレストロイカの影響で東ドイツから西側への脱出者が増え、1989年にホネカー政権が倒れ、ベルリンの壁が開放された。翌1990年に東ドイツで自由選挙が行われて統一の気運が高まると、同年、西ドイツが東ドイツを吸収する形で東西ドイツは統一した。(118字)

解説

問1. ①. 第二次世界大戦中の1941年8月、合衆国大統領フランクリン＝ローズヴェルト(任1933～45)とイギリス首相チャーチル(任1940～45, 51～55)は大西洋上で会談し、戦後の世界の構想を明示した大西洋憲章を発表した。

②. 1949年4月、合衆国を中心とする西側諸国は、ソ連などの東側諸国の脅威に対抗するため、反ソ軍事同盟である北大西洋条約機構(NATO)を結成した。

③・④. 第二次世界大戦後、中国では国民党と共産党の対立が表面化し、内戦が勃発した。内戦の結果、敗れた中国国民党の蒋介石らは1949年末に台湾に逃れ、台北を首都に中華民国政府を維持した。一方、内戦に勝利した中国共産党は、1949年10月、北京を首都として中華人民共和国を樹立した。

⑤・⑥. 20世紀初頭より日本の占領下にあった朝鮮半島は、第二次世界大戦で日本が敗戦すると、北緯38度線を境界に南部が合衆国の、北部がソ連の管理下に置かれた。1948年5月、南部で単独選挙が強行され、8月に李承晩を大統領(任1948～60)とする大韓民国が成立した。北部では、同年9月に朝鮮民主主義人民共和国が建国され、金日成が首相(任1948～72, 国家主席;任1972～94)に就任した。

⑦. オランダ領東インド（インドネシア）は、第二次世界大戦中は日本の占領下にあった。日本敗戦後の1945年8月、スカルノを初代大統領（任～1967）としてインドネシア共和国の独立が宣言された。インドネシアの独立を認めないオランダとの間で独立戦争が勃発したが、1949年、オランダはインドネシアの独立を承認した。

⑧. フランス領インドシナでは、日本占領下の1941年、ホー＝チ＝ミンがヴェトナム独立同盟（ヴェトミン）を組織し、対日武装抵抗を展開した。日本敗戦後の1945年9月、ホー＝チ＝ミンはハノイを都にヴェトナム民主共和国の独立を宣言した。しかし、フランスがこれを承認しなかったため、1946年にインドシナ戦争が勃発した。1954年、ディエンビエンフーの戦いでフランスが敗れると、同年にジュネーヴ休戦協定が結ばれ、フランスはインドシナから撤退した。

⑨. 19世紀末の米西戦争で合衆国に割譲されたフィリピンは、1946年にフィリピン共和国として合衆国からの独立を達成したが、独立後しばらくは、共産主義系のフクバラハップ（フク団）が反政府のゲリラ戦を展開した。

⑩. イギリスの植民地であったインドでは、第二次世界大戦中から、統一インドの独立を主張するガンディーらの国民会議派と、パキスタンの分離・独立を求めるジンナーらの全インド＝ムスリム連盟が対立していた。アトリー政権（1945～51）下のイギリスで、1947年にインド独立法が成立すると、同年、ヒンドゥー教徒を中心とするインド連邦と、ムスリムを中心とするパキスタン共和国とに分離して独立した。

問2. 1945年、国際連合憲章に基づいて国際連合が発足した。本部はニューヨークに置かれ、2010年7月には、加盟国は192カ国にのぼった。国際平和と安全の維持を目的とする多数の機関が設置されており、全加盟国が参加する総会は、各国がそれぞれ1票の投票権を持ち、多数決制を採る。また、最も強大な権限を持つ機関である安全保障理事会は、国際紛争の解決のために経済的・軍事的措置を採る権限を持つ。安全保障理事会は、常任理事国の合衆国・イギリス・フランス・ロシア・中国と、選挙で選出される非常任理事国10カ国で構成され、常任理事国は拒否権を持つ。

問3. 1947年、合衆国大統領のトルーマン（任1945～53）は、共産主義化の恐れがあるギリシアとトルコに対して軍事的・経済的援助を行い、共産主義の脅威と戦うことを宣言した（トルーマン＝ドクトリン）。この方針の下、合衆国はソ連に対して封じ込め政策を開始した。1947年6月、合衆国国務長官マーシャルは、マーシャル＝プラン（ヨーロッパ経済復興援助計画）を発表して、合衆国の主導でヨーロッパ経済を立て直し、ヨーロッパ諸国への共産主義拡大を防止しようとした。西ヨーロッパ諸国はこの計画を受け入れたが、ソ連や東ヨーロッパ諸国はこれを拒否した。

問4. 1947年9月、ソ連・東ヨーロッパ諸国とフランス・イタリアの9カ国の共産党は、マーシャル＝プランに対抗し、コミンフォルム（共産党情報局）を組織した。コミンフォルムは、共産党間の情報交換や活動の調整を目的とした。

問5. ドイツ連邦共和国（西ドイツ）は、初代首相のアデナウアー（任1949～63）の下で急速な経済復興を遂げ、1955年にはNATOに加盟した。一方のドイツ民主共和国（東ドイツ）では、社会主義統一党による一党独裁体制が採られた。しかし、経済が行き詰まり、西側への亡命者が増えたため、1961年、東ドイツは東西ベルリンの境界にベルリンの壁を築いた。そ

の後、米ソ間の緊張が和らぐ中、西ドイツのブランド政権（1969～74）は東方外交を展開し、1972年、東西ドイツは相互に主権を認め合った。1980年代にソ連のゴルバチョフ書記長（任1985～91）がペレストロイカを掲げてソ連社会の全面的な改革に取りかかると、東ヨーロッパの社会主義国では体制に不満を持つ民衆の抵抗運動が相次いだ。東ドイツでは、西側への亡命者が増え、1989年にホネカー政権が退陣した。同年にはベルリンの壁が開放され、東西ドイツの自由な行き来が認められた。1990年3月、東ドイツで自由選挙が行われて統一の気運が高まると、同年10月、西ドイツは東ドイツを吸収する形で東西ドイツの統一を実現した。

【2】

解答

- ① 封じ込め ② マッカーシー ③ 1980 ④ ジンナー
⑤ 全インド＝ムスリム ⑥ 1949 ⑦ バオ＝ダイ ⑧ 委任統治領

解説

①. 「(①) 政策」と問われているので、ここで「封じ込め政策」と答えてしまうと減点される。注意しよう。

②. やや難問。第二次世界大戦後の冷戦体制下のアメリカ合衆国で生じた反共運動、いわゆる「赤狩り」は、共和党上院議員マッカーシーが起こしたことに因み、マッカーシズムと呼ばれている。因みにマッカーシーは第二次世界大戦後の連合国軍総司令部の最高司令官マッカーサーとはまったく別人なので間違えないこと。

③. 中ソ対立の流れから捉えよう。中ソ友好同盟相互援助条約は中華人民共和国の成立の翌1950年に結ばれ、「中ソ社会主義国＝一枚岩」を内外に示したが、その後の中ソ対立や70年代の米中接近で機能を失い、1979年4月に中国側が破棄を通告し、翌1980年4月に解消した。

④・⑤. 旧イギリス領インドでは、ジンナー率いる全インド＝ムスリム連盟とガンディー率いる国民会議派との対立から、1947年8月にイスラーム教徒中心のパキスタンとヒンドゥー教徒中心のインド連邦に分かれて、イギリス連邦内の自治領として独立した。その後パキスタンは1956年にパキスタン＝イスラーム共和国として正式に独立した。

⑥. 1949年に国連安全保障理事会の仲介によりハーグ協定が結ばれ、オランダはインドネシアの独立を承認した。

⑦. ヴェトナムでは1945年にホー＝チ＝ミン率いるヴェトナム独立同盟がヴェトナム民主共和国を樹立したが、これを認めずに植民地支配復活を策すフランスとの間に翌1946年インドシナ戦争が勃発した。1949年、フランスは阮朝最後の皇帝バオ＝ダイを主席とするヴェトナム国を建てた。

⑧. 第一次世界大戦中にパレスチナの地に関して、フセイン＝マクマホン協定（1915年）・サイクス＝ピコ協定（1916年）・バルフォア宣言（1917年）と三枚舌を使い分けたイギリスは、第一次世界大戦後にパレスチナを自国の委任統治領として獲得した。その結果、同地域には全世界からユダヤ人が移住し、先住のアラブ人との間に対立が生じた。

【3】

解答

A イ 武器貸与 ロ 大西洋憲章 ハ 蔣介石 ニ プレトン＝ウッズ

ホ トルコ ヘ 双十 ト フィリピン

B あ b い d う d え a

C 1. a 2. c 3. c 4. a 5. キッシンジャー 6. d

7. 部分的核実験停止条約調印拒否（核兵器保有）、中国承認、NATO 軍事機構脱退などのうち2つ

8. c

解説

A. イ. 1940 年 11 月にフランクリン＝ローズヴェルトが大統領に 3 選されると、アメリカ合衆国は第二次世界大戦に中立ではあるが民主主義国を支援するという立場を明らかにし、1941 年 3 月には武器貸与法が成立し、大統領が必要と認める時には外国に武器を貸与する権限を確立した。

ロ・ハ. 1941 年 8 月、アメリカ合衆国のローズヴェルトとイギリスのチャーチルは、共通の戦争目的を定めた大西洋憲章を発表した。この憲章に後にソ連と中国が加わり、ファシズム打倒の連合国宣言が示された。1943 年 11 月にはローズヴェルトとチャーチルに加え、中華民国の蔣介石がエジプトのカイロで会談を行い、日本の無条件降伏と戦後処理方針について定めたカイロ宣言を発表した。さらにその直後、ローズヴェルト・チャーチル・スターリンがイランのテヘランで会談を行い、連合軍のヨーロッパ本土上陸作戦などを決定した。

ニ. 1944 年 7 月、アメリカ合衆国のブレトン＝ウッズで連合国側の代表による会議が開かれ、戦後の国際経済・金融の体制が確立された。

ホ. 1947 年、イギリスは第二次世界大戦中は自国の勢力圏とされてきたギリシア・トルコに対する経済援助の打ち切りをアメリカ合衆国に通告した。これを受けてアメリカ合衆国大統領トルーマンはトルーマン＝ドクトリンにおいて、共産主義の侵略の脅威に対抗するためアメリカ合衆国がギリシアとトルコに対する経済・軍事援助を行うことを発表し、対ソ封じ込め政策を展開した。

ヘ. 1945 年、国民党の蔣介石と共産党の毛沢東は双十協定を結び、内戦の回避と平和的統一などに合意したが、1946 年 7 月には全面的な国共内戦に突入した。

ト. アメリカ合衆国は 1951 年にサンフランシスコで締結された平和条約で日本の独立が回復すると、日米安全保障条約を結んだ。同年にフィリピンと相互防衛条約を結んでアメリカ合衆国軍を駐留させ、オーストラリア・ニュージーランドとの間では太平洋安全保障条約（ANZUS）を締結した。1953 年には韓国と米韓相互防衛条約を、翌 1954 年には台湾と米華相互防衛条約を結んだ。

B. あ. A－ロ・ハの解説文参照。

い. 1964 年のトンキン湾事件後、ジョンソン大統領は解放民族戦線への北からの支援を断つために、1965 年 2 月から北ヴェトナム爆撃（北爆）を開始した。

う. 西ドイツのブラント政権は、社会主義諸国との和解を積極的に進める東方外交を展開し、

1970年8月にはソ連と武力不行使を約束した条約を結び、第二次世界大戦の結果生じたヨーロッパの国境の不可侵が定められた。1970年12月にはポーランドと国交を正常化し、オーデル＝ナイセ線をポーランドとの国境とした。さらに1972年には東西ドイツ間に基本条約が結ばれ、相互に主権国家として承認しあい、1973年には両国とも国際連合に加盟した。

え。1975年、アルバニアを除く全ヨーロッパ諸国とアメリカ・カナダの35カ国首脳がヘルシンキの全欧安保協力会議に集まり、主権尊重や武力行使などを提唱したヘルシンキ宣言を採択した。

C. 1. 北朝鮮は1991年に国際連合に加盟した。b. 国連憲章を採択したサンフランシスコ会議には、連合国50カ国が招請された。c. 常任理事国の数は設立以降2012年現在まで増加していない。d. マレーシアは1957年に国際連合に加盟後、脱退はしていない。

2. アメリカ独立戦争では、七年戦争の敗北以来イギリスへの復讐をはかるフランスがアメリカ合衆国に接近し、1778年には同盟関係を結んだ。

3. 中国は1979年に中ソ友好同盟相互援助条約の破棄を通告し、条約は1980年に解消された。

4. 中華人民共和国は1971年に国際連合に加盟し、同時に中華民国は国際連合から脱退した。

5. 1971年にキッシンジャー補佐官が秘密裏に中国を訪問して周恩来と会談し、ニクソン訪中が決定した。

6. フルシチョフの後任には、ブレジネフが第一書記に就任し、1968年チェコスロヴァキアへの介入後は国内の改革派に対する弾圧が強められた。

7. ド＝ゴールは1958年に大統領の権限を強化した憲法改正に成功して第五共和政を発足させた。ド＝ゴールは「フランスの栄光」を求めて米ソの世界支配に挑戦し、1964年には中国を承認して1966年にはNATOの軍事機構から脱退した。さらに米ソの核独占に反対して1960年に原爆実験に成功し、部分的核実験停止条約への調印も拒否した。

8. B-うの解説文を参照。

【4】

解答

問1 ① i ② e ③ m ④ d ⑤ j

問2 ニュルンベルク 問3 国際通貨基金(IMF) 問4 アデナウアー

問5 ゴルバチョフ 問6 トルーマン 問7 マーシャル

問8 コメコン(COMECON, 経済相互援助会議) 問9 クーデンホフ＝カレルギー

問10 シューマン 問11 ヨーロッパ自由貿易連合(EFTA)

解説

問1. ①. 1945年2月4日～8日、ソ連領内のクリミア半島南端のヤルタでヤルタ会談が開かれ、アメリカ合衆国のローズヴェルト、イギリスのチャーチル、ソ連のスターリンが参加した。会談ではドイツの非軍事化など、戦後のヨーロッパ・アジアの在り方について話し合われた。

②. 1944年7月にアメリカ合衆国のブレトン・ウッズで連合国側の代表による会議が開かれ、

国際通貨基金（IMF）と国際復興開発銀行（IBRD）の設立が合意された。

③. 1955 年 5 月、ソ連は西ドイツの NATO 加盟に対抗して、東ヨーロッパ諸国との間にワルシャワ条約機構を結成した。

④. 1948 年 2 月、チェコスロヴァキアでクーデタが起き、共産党が実権を握ったことは、西ヨーロッパ諸国に衝撃を与えた。これを受けて、1948 年 3 月、イギリス、フランス、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクの 5 カ国は西ヨーロッパ連合条約（ブリュッセル条約）を結び、反共軍事同盟を結成した。

⑤. 1957 年 3 月、フランス、イタリア、西ドイツ、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクによりローマ条約が結ばれ、翌年ヨーロッパ経済共同体（EEC）が創設され、原子力エネルギーの共同管理と共同開発を行うためのヨーロッパ原子力共同体（EURATOM）も設立された。

問 2. 1945 年 11 月～1946 年 10 月、ドイツの戦争指導者を追及する国際軍事裁判がニュルンベルクで行われた。

問 3. 1945 年 12 月、国際的な為替の安定などを目的とした国際通貨基金（IMF）と、戦災国の経済復興や発展途上国の開発などを目的に長期融資などを行う国際復興開発銀行（IBRD）が設立された。合衆国のドルを基軸通貨とする金・ドル本位制が成立し、各国通貨の交換比率を固定する固定為替相場制が採用された。こうした世界経済の体制を、IMF 体制と呼ぶ。

問 4. 1949 年、ドイツの西側占領地区で行われた選挙の結果、連邦首相にキリスト教民主同盟のアデナウアーが就任し、ボンを暫定首都として 9 月にドイツ連邦共和国（西ドイツ）が成立した。

問 5. ゴルバチョフは共産党と国家を刷新するための一連の改革であるペレストロイカに着手し、情報公開や市場経済への移行が進められた。

問 6. 1947 年 3 月、アメリカ合衆国大統領トルーマンは、ギリシア・トルコに対する経済・軍事援助を行い共産主義の拡大を抑えることをトルーマン＝ドクトリンにおいて表明し、ソ連に対する封じ込め政策を展開した。

問 7・問 8. 1947 年 6 月、アメリカ合衆国のマーシャル国務長官はヨーロッパの経済復興援助計画であるマーシャル＝プランを発表し、ヨーロッパの内部からの共産化の防止をはかった。イギリス・フランスを初めとする西欧諸国はマーシャル＝プラン受け入れのためのヨーロッパ経済協力機構（OEEC）を設立したが、ソ連は計画への参加を拒否し、1949 年 1 月には東欧諸国とともに東欧経済相互援助会議（コメコン）を設立した。

問 9. クーデンホフ＝カレルギーは、1920 年代に汎ヨーロッパ主義を提唱して欧州統合を働きかけたが実を結ばず、第二次世界大戦時には各国に亡命した。第二次世界大戦後もヨーロッパ共同体の進展に尽力した。

問 10. フランスの外相シューマンが提案したシューマン＝プランに基づき、ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体（ECSC）がフランス、西ドイツ、ベルギー、オランダ、ルクセンブルク、イタリアによって発足した。

問 11. イギリスは西ヨーロッパ諸国の統合の動きに当初参加せず、1960 年に北欧諸国やスイス、オーストリアなどとヨーロッパ自由貿易連合（EFTA）を結成した。

【5】

解答

- 問1 a ラッセル b パグウォッシュ c ジュネーヴ d アイゼンハウアー
e フルシチョフ f スプートニク1号 g カストロ h 部分的核実験停止
i 核拡散防止(不拡散) j 中国 k パキスタン
問2 ポズナニ 問3 (1) (ロ) (2) キング牧師

解説

問1. a・b. 1955年イギリスの哲学者バートランド＝ラッセルと、物理学者アインシュタインが核戦争による人類滅亡の危機克服を訴えるラッセル＝アインシュタイン宣言を発表し、1957年カナダのパグウォッシュで第1回会議が開かれた。

c・d. 1955年7月には、アメリカ合衆国のアイゼンハウアー、ソ連のブルガーニン、イギリスのイーデン、フランスのフォールによってジュネーヴ4巨頭会談が開かれ、ドイツ問題や軍縮などについて討議された。

e. 1953年のスターリンの死後、第一書記に就任したフルシチョフは、1956年のソ連共産党大会でスターリン批判を行い、資本主義国との平和共存を表明した。

f. ソ連は大陸間弾道弾の実験成功に続いて人工衛星スプートニク1号の打ち上げにも成功し、米ソ間での軍事開発競争が過熱する一方で、ソ連の平和共存路線への転換を受けて、1959年にはフルシチョフがアメリカ合衆国を訪れ、キャンプ＝デーヴィッドでアイゼンハウアー大統領と会談した。

g. 1959年、カストロが親米的なバティスタ政権を打倒し、民主主義的な諸改革に着手すると、アメリカ合衆国はキューバに対して経済的圧迫を強め、1961年には国交を断絶した。カストロは1961年に社会主義宣言を発表してソ連寄りの姿勢を強めた。

h～j. 1963年にはアメリカ合衆国・ソ連・イギリスの間で部分的核実験停止条約が締結され、大気圏内・宇宙空間・水中における核実験が禁止された。1968年には、アメリカ合衆国・イギリス・ソ連ら62カ国が核拡散防止条約に調印し、核兵器保有国をアメリカ合衆国・ソ連・イギリス・フランス・中国の5カ国に限定することを定めた。

k. 1998年、インドとパキスタン両国が核実験を行い、パキスタンが新たな核保有国となった。

問2. ポーランドでは1956年6月、ポズナニで暴動が起こり、共産党は指導者をゴムウカに交替させて自由化路線を採った。

問3. (1). ケネディはニューフロンティア政策を提唱し、国内外での積極姿勢を打ち出した。イの「偉大な社会」計画はジョンソン大統領が提唱したスローガンで、公民権法を成立させるなど、差別と貧困の解消をめざす社会政策を推進した。ハのフェアディール政策はトルーマンが提唱した政策で、ニューディール政策を継承して福祉政策の充実をめざした。ニの巻き返し政策はアイゼンハウアーが提唱した政策で、共産勢力に対する強硬姿勢を打ち出した。

(2). キング牧師は公民権運動を指導したが、1968年に暗殺された。

【6】

解答

問A a 4 b 1 c 2 d 3 e 1 f 2 g 4 h 2 i 1

問B ア 4 イ 4 ウ 4 エ 3 オ 3 カ 1

解説

問A. a～c. 1985年にゴルバチョフは書記長に就任し、政治的・経済的停滞を打破するために、ペレストロイカを掲げて、ソ連の政治・社会体制の抜本的改革に着手した。外交面では新思考外交を提唱し、1988年3月の新ベオグラード宣言では、ソ連の指導権を否定した。

d. ポーランドでは1980年に食料品の値上げに対するストライキ運動が広がり、ワレサを指導者とする自主管理労組「連帯」が組織され、政府に改革を求めた。「連帯」は一時非合法化されたが、1989年6月の総選挙で「連帯」系候補が勝利し、一党支配体制が放棄された。

e. 東ドイツでは、1989年10月にホネカー書記長が退陣し、11月9日に東ドイツ政府がベルリンの壁を開放した。

f・g. チェチェン共和国は1991年にソ連邦からの分離独立を宣言したが、ロシア大統領エリツィンはこれを認めず武力介入を行い、現在も紛争が続いている。

h・i. ユーゴスラヴィアはクロアチア・スロヴェニア・セルビア・ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ・モンテネグロ・マケドニアの6共和国から構成されていたが、1980年のティトの死後、内部の民族的・宗教的対立が激化し、1991年にはクロアチアとスロヴェニアが連邦を離脱した。その後、マケドニアも独立し、1992年にはユーゴスラヴィア連邦は解体した。セルビアの自治州であったコソヴォでは、アルバニア人が独立を求めたことによる抗争が激化し、1999年にNATOがセルビアに対する空爆を行い、セルビアはコソヴォから撤退した。

問B. ア. 1987年12月、中距離核戦力（INF）全廃条約が締結され、中射程の弾道ミサイル、巡航ミサイルをすべて廃棄することが定められた。

イ. 問A－dの解説文参照。

ウ. 1950年代末に農業の集団化が行われると、東ベルリンから西側に脱出する人々が増えたため、1961年に東西ベルリンの境界に壁を築いて脱出を阻止した。

エ. 1990年10月、西ドイツのコール首相は、アメリカ合衆国・イギリス・フランス・ソ連の同意を得て、東ドイツを吸収して東西ドイツを統一した。

オ. バルト3国とはエストニア・ラトヴィア・リトアニアの3国をさす。グルジアはソ連の構成国の1つで、1991年に独立したが、南オセチアの独立などをめぐってロシアと武力衝突が続いている。

カ. 問A－h・iの解説文参照。

【7】

解答

- 問1 ① ドレフュス ② シオニズム ③ バルフォア
④ フセイン・マクマホン ⑤ ナセル ⑥ パレスチナ解放機構 (PLO)
⑦ サダト ⑧ パレスチナ暫定自治
- 問2 b
- 問3 石油戦略を発動し、敵対する勢力への石油供給を制限した。(27字)
- 問4 d

解説

- 問1. ①. 1894年にフランスで発生したドレフュス事件は、ユダヤ系のドレフュス大尉をドイツのスパイとして軍が逮捕した冤罪事件。ゾラなど多くの知識人が彼の無罪を訴えた。
- ②. ユダヤ人のナショナルホーム（民族的故郷）をパレスチナに建設しようとする動きをシオニズムという。1897年にはスイスのバーゼルで第1回シオニスト大会が開催された。
- ③. 第一次世界大戦中の1917年に、ユダヤ資本を得る目的でイギリスがユダヤ人との間でシオニズム支援を約束したもの。
- ④. 第一次世界大戦中の1915年に、アラブ人による反トルコ戦線の結成でイギリスへの戦争協力と、その見返りに戦後のアラブ人のトルコからの独立をイギリスが承認したもの。
- ⑤. ナセルはナギブらとともに1952年のエジプト革命を起こし、これでエジプトは共和政へ移行した。ナギブが大統領となるがすぐに追放され、ナセルが大統領に就任した。
- ⑥. パレスチナ解放機構は、ユダヤ人に奪われたパレスチナ人の権利と財産・土地の奪回をめざす諸組織の統合体として結成した。1969年から2004年までアラファトがその議長を務めた。
- ⑦. エジプトのサダト大統領とイスラエルのベギン首相の間でエジプト＝イスラエル平和条約が結ばれ、第3次中東戦争でイスラエルが奪ったシナイ半島がエジプトに返還されることが決まった。
- ⑧. PLOのアラファト議長とイスラエルのラビン首相の間でパレスチナ暫定自治協定が結ばれ、イスラエル占領地のガザとイエリコでパレスチナ人による暫定自治が認められた。
- 問2. 国際連盟の本部はジュネーヴ、国際連合の本部はニューヨークに置かれた。
- 問3. 石油戦略の結果、イスラエルに味方した欧米先進諸国は石油危機に陥り、経済は大幅に停滞した。石油などの資源産出国が、先進国と対等な関係を築くための新しい可能性を示す戦略であることに着目しておきたい。
- 問4. 「第二次中東戦争」が誤りで、正しくは「第三次中東戦争」。この戦争でイスラエルはエジプトからシナイ半島とガザ地区、シリアからゴラン高原、ヨルダンからヨルダン川西岸を獲得した。

【8】

解答

- 問1 a エネルギー保存の法則 b キュリー夫妻 c ラジウム
d パストゥール e ダーウィン f メンデル g 実証 h ロマン
i 自然
- 問2 ラヴォワジエ 問3 イ 問4 ハーバート＝スペンサー 問5 共産党宣言
問6 ロバート＝オーウェン 問7 ドレフュス事件

解説

問1. a. マイヤーはドイツの物理学者で、ヘルムホルツはドイツの生理学者であった。両者は協力して1847年にエネルギー保存の法則を発見した。エネルギー保存の法則は、ある閉じた系の中では、運動エネルギーと位置エネルギーと熱エネルギーの総計は一定である、という法則で、物理学の基本的な法則である。

b・c. キュリー夫妻はフランスの物理・科学者である。彼らは強い放射線を出している物質について研究し、1898年にラジウムとポロニウムという新しい元素を発見した。ポロニウムという名前は、妻マリーの祖国ポーランドに因んで名付けられた。彼らは放射能の研究の業績で、1903年にノーベル物理学賞を受賞した。夫の死後も研究を続けたマリーは、1911年にはノーベル化学賞を受賞した。2度にわたってノーベル賞を受賞したのは、彼女が初めてであった。

d. パストゥールはフランスの細菌学者である。彼は発酵の過程について研究し、ワインが酸っぱくなるという問題を解決し、パストゥール処理といわれる低温殺菌法を考案した。また、病気が細菌によって起こることを主張し、数多くの病気を研究した。病気を予防するために弱毒化したウイルスを開発し、狂犬にかまれた少年に弱毒化したウイルスを注射して病気を治すなど、伝染病の治療・予防にも力を尽くした。

e. ダーウィンはイギリスの博物学者である。彼は1831年から5年間、ビーグル号に乗船して南半球の地質や化石・生物の観察を行った。この体験から、種は不変で神によって創造されており、天変地異で滅びる、というこれまでの考え方に疑問を覚えるようになった。1859年に『種の起源』を発表し、種が自然選択によって進化してきたという進化論を述べた。進化論は宗教界など各界に大きな衝撃を与え、論争が巻き起こった。

f. メンデルはオーストリアの博物学者である。彼は2万本以上のエンドウ豆を栽培し、その形質の伝わり方の分析を行った。この実験と分析から、メンデルの法則といわれる遺伝の法則を発見し、1865年に発表した。しかし、彼の生前にはあまり注目されず、1900年になって再評価された。

g. フランスのコントは、経験によって確かめられる事実のみを知識の対象とすることを主張した。彼の立場を実証主義という。彼は知識の発達段階を神学的・形而上学的・実証的の3段階に分けた。彼は社会学の祖ともいわれる。

h. ヨーロッパでは、規則と調和を重んじる古典主義に対し、18世紀から19世紀半ばにかけてロマン主義といわれる文芸思潮が広がった。ロマン主義は人間の個性や感性を重視し、歴史や民族文化を尊重するものであった。代表的な作家に、ドイツのハイネ、フランスのユーゴー、イギリスのバイロンらがいた。

i. ロマン主義に対し、19世紀中頃からは、社会や人間を客観的にありのままに描こうとする写実主義が広がった。さらに写実主義を徹底させ、人間を実験科学的に捉えようとする自然主義も広がった。自然主義の代表的な作家に、フランスのゾラ、モーパッサン、ノルウェーのイブセンらがいた。

問2. ラヴォワジエはフランスの科学者である。彼は物質の燃焼前と燃焼後では物質に変化は起こるが重量は変わらないことを発見し、質量保存の法則を打ち立てた。また、燃焼が物質と酸素が結合する現象であることを説明した。彼は科学アカデミーの会員になっていたが、徴税請負も行っていたことから有罪とされ、フランス革命中の1794年にギロチンで処刑された。

問3. フルトンは1807年に世界最初の外輪式蒸気船であるクラームント号を建造し、その航海に成功した。蒸気船は帆船よりも航海時間が短縮できるため、次第に、帆船に変わって蒸気船が大洋航海に利用されるようになった。また、19世紀前半にステューヴンソンが蒸気機関車の実用化に成功すると、鉄道が重要な輸送経路として整備された。イギリスでは第2次囲い込みによって多くの農民が土地を失い、都市に流入して工場労働者となった。都市の人口が急激に増えたため、社会問題も数多く発生した。

問4. ハーバート＝スペンサーはイギリスの哲学者である。彼はダーウィンの進化論を社会に当てはめ、社会ダーウィニズムといわれる考えを説いた。彼は人間も成功するために競争する、とした。10巻に及ぶ『総合哲学体系』を著した。日本の自由民権運動に影響を与えた。

問5. マルクスとエンゲルスは共同で、1848年2月に『共産党宣言』を発表した。彼らはこの中で、これまでの社会が階級闘争の歴史の中にあり、資本家と労働者の階級闘争を通じて、最終的に労働者が政権を握って無階級社会を実現することを主張した。本書の最後で、“万国の労働者よ、団結せよ”と呼びかけた。

問6. ロバート＝オーウェンは空想的社会主義者といわれる。彼は、スコットランドのニューラナークで工場を経営し、労働環境の改善に努めた。さらに1825年には、合衆国にニューハーモニー村を建設して、自足自給・平等の理想的な社会の実現をめざしたが、4年で失敗した。

問7. ゾラは『居酒屋』『実験小説論』などを著した自然主義作家である。1894年に起こったドレフュス事件では、新聞紙上で大統領への公開状である“わたしは弾劾する”という文章を発表し、無実の罪に問われたドレフュスを弁護し、軍部を批判した。彼の活動もあり、ドレフュスは再審が行われ、最終的に無罪となった。

【9】

解答

- ① b ② d ③ b ④ c ⑤ a ⑥ c ⑦ a ⑧ a
⑨ c ⑩ d

解説

①. 17世紀からフランス・イギリスで、18世紀からはドイツで、調和と規則を重んじる古典主義という文芸思潮が盛んになった。代表的な作家に、ゲーテ・シラーらがいた。18世紀末から19世紀半ばにかけては、個人の感情や感性を重視し、民族文化を尊重するロマン主義が広がった。主な作家に、ハイネ・ユーゴー・バイロンらがいた。19世紀後半になると、社

会や人間を客観的に描こうとする写実主義の風潮が広がった。さらに、写実主義を徹底させ、人間社会を科学的に捉えて表現しようとする自然主義の思潮が現れた。写実主義の代表的な作家に、スタンダール・バルザック・ディケンズ・トウルゲーネフ・ドストエフスキー・トルストイらがいた。自然主義の代表的な作家には、ゾラ・モーパッサン・イブセンらがいた。19世紀後半になると、美を最高の価値とする耽美主義や、象徴的な表現を重視する象徴主義が現れた。耽美主義の代表的な作家にワイルドらが、象徴主義の代表的な作家にボードレール・ヴェルレーヌらがいた。

②. ロマン＝ロランは19～20世紀のフランスの文学者である。彼は第一次世界大戦に際し、反戦の立場を貫いた。代表作に『ジャン＝クリストフ』がある。アンドレ＝ジイドは19～20世紀のフランスの小説家で代表作に『狭き門』が、ブルーストは19～20世紀のフランスの作家で代表作に『失われた時を求めて』がある。ユーゴーは19世紀フランスのロマン派の作家で、代表作に『レ＝ミゼラブル』がある。

③. ニーチェは19世紀のドイツの哲学者である。彼はヨーロッパ社会の堕落を指摘して、その堕落の根源にはキリスト教があるとした。彼は“神は死んだ”と表現し、神に代わる新しい価値の体現者として“超人”の思想を説いた。彼の思想の一部は曲解されてナチスに利用された。カントは18世紀のドイツの哲学者で、ドイツ観念論哲学を創始した。ヘーゲルは18～19世紀のドイツの哲学者で、ドイツ観念論哲学を大成した。ヤスパースは19～20世紀のドイツの実存哲学者である。

④. ハイデggerは19～20世紀のドイツの実存哲学者である。主著『存在と時間』で人間の存在とは何かについて考察した。彼は公然とナチスを支持したため、多くの論争を招いた。キェルケゴールは19世紀のデンマークの哲学者、ショーペンハウエルは18～19世紀のドイツの観念論哲学者、フォイエルバッハは19世紀のドイツの哲学者である。

⑤. トーマス＝マンは19～20世紀のドイツの作家である。第一次世界大戦の際には帝政ドイツを支持したが、戦後、ナチスが政権を握ると反ナチスの立場に立ち、スイス・合衆国に亡命した。第二次世界大戦後はスイスに移住した。代表作に『魔の山』がある。ノヴァーリスは18世紀に活躍したドイツのロマン派の詩人、ブレヒトは20世紀に活躍したドイツの劇作家で代表作に『三文オペラ』がある。ヘッセは19～20世紀のドイツの作家で反戦と平和を主張した。代表作に『車輪の下』がある。

⑥. ヘミングウェイは20世紀に活躍した合衆国の作家である。1936～39年のスペイン内乱の際には新聞社の特派員として活躍した。その時の体験から『誰がために鐘は鳴る』を著した。その他の代表的な著作に、『陽はまた昇る』『武器よさらば』『老人と海』がある。エマーソンは19世紀の合衆国のロマン派の詩人、スタインベックは20世紀の合衆国の作家で代表作に『怒りの葡萄』がある。ホーソンは19世紀の合衆国のロマン派の作家で代表作に『緋文字』がある。

⑦. オーウェルは20世紀のイギリスの作家である。スペイン内乱の際には国際義勇軍に参加した。この時の経験をもとに、『カタロニア讃歌』を著した。ジョイスは19～20世紀のアイルランドの小説家で代表作に『ユリシーズ』が、バーナード＝ショーは19～20世紀のイギリスの劇作家で代表作に『人と超人』が、ローレンスは19～20世紀のイギリスの作家で、代表作に『チャタレー夫人の恋人』がある。

⑧. カミュは20世紀のフランスの作家である。第二次世界大戦中はフランスで反ナチスのレジスタンス活動に参加し、レジスタンスの機関紙の編集長を務めた。代表的な作品に、『異邦人』『ペスト』がある。サルトルは20世紀のフランスの哲学者・文学者で、代表作に『存在と無』がある。サン＝テグジュペリは20世紀のフランスの飛行家・作家で、代表作に『星の王子さま』がある。マルローは20世紀のフランスの作家で、代表作に『希望』がある。

⑨. バートランド＝ラッセルは19～20世紀のイギリスの思想家である。彼は物理学者のアインシュタインとともに、1955年にラッセル・アインシュタイン宣言を発表し、核の脅威と戦争の廃絶を訴えた。この宣言を受けて、1957年に科学者が集まってパグウォッシュ会議を開いた。ペンサムは18～19世紀の功利主義哲学者、デューイは19～20世紀の合衆国の哲学者でプラグマティズムを大成した。ジョン＝ステュアート＝ミルは19世紀のイギリスの功利主義哲学者である。

⑩. ソルジェニーツィンは20世紀のソ連の作家である。彼はスターリン批判後、強制収容所での体験をまとめたものを発表した。1973年に代表作『収容所群島』でソ連の体制を批判すると、翌年にソ連の市民権を剥奪され、国外に追放された。ペレストロイカで名誉が回復され、1994年にロシアに帰国した。エレンブルグは19～20世紀のソ連の作家で、代表作に『雪どけ』が、ゴリキーは19～20世紀のロシア・ソ連の作家で、代表作に『どん底』が、ショロホフは20世紀のソ連の作家で代表作に『静かなるドン』がある。



会員番号

氏 名